

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成26年12月11日 (2014.12.11)

【公開番号】特開2014-188268(P2014-188268A)  
 【公開日】平成26年10月6日 (2014.10.6)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-055  
 【出願番号】特願2013-68078(P2013-68078)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 3 C

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

【手続補正書】  
 【提出日】平成26年10月27日 (2014.10.27)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

所定の回転開始操作を受けて、複数種類の図柄が描かれた複数の回胴を回転させ、所定の回転停止操作を受けて前記複数の回胴の回転を停止させることで 1 回の図柄変動遊技を行う回胴式遊技機であって、

前記回転開始操作が行われてから 1 回の前記図柄変動遊技が終了するまでの間に、当該図柄変動遊技の進行を停滞させ、所定の操作部の操作に基づいて回転中の回胴を仮停止させる回胴演出を実行可能な回胴演出実行手段と、

前記回胴演出を再度実行させるか否かを決定するための再実行抽選を行う再実行抽選手段と、

前記再実行抽選にて前記回胴演出を再度実行させないと決定された場合に、前記回胴演出を終了させ、停滞中の前記図柄変動遊技を再開する回胴演出終了手段と、

を備え、

前記回胴演出実行手段は、前記再実行抽選にて前記回胴演出を再度実行させると決定された場合には、前記回胴演出にて仮停止させた回胴の回転を開始して前記回胴演出を再度実行する

ことを特徴とする回胴式遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の回胴式遊技機において、

前記所定の操作部として、前記複数の回胴の各々に対応して複数の操作部が設けられており、

前記再実行抽選手段は、前記複数の操作部の各々の操作に基づき複数回の前記再実行抽選を行い、

前記回胴演出実行手段は、前記複数回の再実行抽選のうち前記回胴演出の再度実行が少なくとも 1 回決定されると、前記回胴演出を再度実行し、

前記回胴演出終了手段は、前記複数回の再実行抽選の全てで前記回胴演出を再度実行させないと決定されると、前記回胴演出を終了させる

ことを特徴とする回胴式遊技機。

**【請求項 3】**

請求項 1 に記載の回胴式遊技機において、

前記所定の操作部として、前記複数の回胴の各々に対応して複数の操作部が設けられており、

前記再実行抽選手段は、前記複数の操作部の各々の操作に基づき複数回の前記再実行抽選を行い、

前記回胴演出実行手段は、

前記複数回の再実行抽選の全てで前記回胴演出の再度実行が決定されると、前記回胴演出を再度実行し、

前記回胴演出終了手段は、前記複数回の再実行抽選のうち前記回胴演出を再度実行させないと少なくとも 1 回決定されると、前記回胴演出を終了させる

ことを特徴とする回胴式遊技機。

**【請求項 4】**

請求項 1 ないし請求項 3 の何れか一項に記載の回胴式遊技機において、

前記回胴演出が再度実行された回数が規定回数になると、前記再実行抽選で前記回胴演出の再度実行が決定される確率を変化させる確率変更手段を備える

ことを特徴とする回胴式遊技機。

**【請求項 5】**

請求項 1 ないし請求項 4 の何れか一項に記載の回胴式遊技機において、

前記回胴演出にて前記複数の回胴を仮停止させて何れかの図柄を表示するように制御する仮停止制御手段を備え、

前記仮停止制御手段は、

前記再実行抽選にて前記回胴演出の再度実行が決定されると、前記回胴演出の再度実行を示す再実行図柄を表示して前記回胴を仮停止可能とし、

前記再実行抽選にて前記回胴演出を再度実行させないと決定されると、前記再実行図柄を表示せずに前記回胴を仮停止する

ことを特徴とする回胴式遊技機。

**【手続補正 2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上述した課題の少なくとも一部を解決するために、本発明の回胴式遊技機は次の構成を採用した。すなわち、

所定の回転開始操作を受けて、複数種類の図柄が描かれた複数の回胴を回転させ、所定の回転停止操作を受けて前記複数の回胴の回転を停止させることで 1 回の図柄変動遊技を行う回胴式遊技機であって、

前記回転開始操作が行われてから 1 回の前記図柄変動遊技が終了するまでの間に、当該図柄変動遊技の進行を停滞させ、所定の操作部の操作に基づいて回転中の回胴を仮停止させる回胴演出を実行可能な回胴演出実行手段と、

前記回胴演出を再度実行させるか否かを決定するための再実行抽選を行う再実行抽選手段と、

前記再実行抽選にて前記回胴演出を再度実行させないと決定された場合に、前記回胴演出を終了させ、停滞中の前記図柄変動遊技を再開する回胴演出終了手段と、

を備え、

前記回胴演出実行手段は、前記再実行抽選にて前記回胴演出を再度実行させると決定された場合には、前記回胴演出にて仮停止させた回胴の回転を開始して前記回胴演出を再度実行する

ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

このような本発明の回胴式遊技機では、1回の図柄変動遊技が終了するまでに、図柄変動遊技を停滞させ、所定の操作部が操作されたことに基づいて、回転中の回胴を仮停止させる回胴演出を実行可能となっており、回胴演出を再度実行するか否かを決定するための再実行抽選を行い、回胴演出の再度実行が決定されることでもう一度回胴演出の実行が可能となる。これにより、図柄変動遊技の進行が停滞している回胴演出中において、遊技者に所定の操作部を積極的に操作させることができ、その結果、回胴演出における遊技興趣を向上させることが可能となる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、上述した本発明の回胴式遊技機では、

前記所定の操作部として、前記複数の回胴の各々に対応して複数の操作部が設けられており、

前記再実行抽選手段は、前記複数の操作部の各々の操作に基づき複数の前記再実行抽選を行い、

前記回胴演出実行手段は、前記複数の再実行抽選のうち前記回胴演出の再度実行が少なくとも1回決定されると、前記回胴演出を再度実行し、

前記回胴演出終了手段は、前記複数の再実行抽選の全てで前記回胴演出を再度実行させないと決定されると、前記回胴演出を終了させる

こととしてもよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、前述した本発明の回胴式遊技機では、

前記所定の操作部として、前記複数の回胴の各々に対応して複数の操作部が設けられており、

前記再実行抽選手段は、前記複数の操作部の各々の操作に基づき複数の前記再実行抽選を行い、

前記回胴演出実行手段は、

前記複数の再実行抽選の全てで前記回胴演出の再度実行が決定されると、前記回胴演出を再度実行し、

前記回胴演出終了手段は、前記複数の再実行抽選のうち前記回胴演出を再度実行させないと少なくとも1回決定されると、前記回胴演出を終了させる

こととしてもよい。

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、こうした本発明の回胴式遊技機では、

前記回胴演出にて前記複数の回胴を仮停止させて何れかの図柄を表示するように制御する仮停止制御手段を備え、

前記仮停止制御手段は、

前記再実行抽選にて前記回胴演出の再度実行が決定されると、前記回胴演出の再度実行を示す再実行図柄を表示して前記回胴を仮停止可能とし、

前記再実行抽選にて前記回胴演出を再度実行させないと決定されると、前記再実行図柄を表示せずに前記回胴を仮停止する

こととしてもよい。